

□大会第8日目 5 月 25 日 (日) 決勝戦

聖	和	學	園	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
仙	台	育	英	0	0	2	1	0	3	1	3	X	10

▽本墨打 川尻(仙)

▽本塁打 川尻(仙)

▽三墨打 田山(仙)

なし。

▽二墨打	なし	(聖)
	なし	(仙)

【 聖 和 学 園 】		打数	安打	打点
(遊)	高橋 歩汰	2	1	1
(遊)	佐藤 暖大	1	0	0
(右)	村上 大晟	3	0	0
(中)	佐々木 一敬	4	0	0
(一)	佐藤 煌馬	4	1	0
(左)	太田 元	2	0	0
(二)	香山 葉	2	1	0
打	小林 新	1	0	0
二	庄司 丈瑠	0	0	0
(三)	澁谷 優汰	4	1	0
(投)	高橋 優心	2	0	0
投	菅野 祐斗	0	0	0
投	小幡 大斗	1	0	0
(捕)	高山 敢太	3	1	1
打	山本 歩生	1	0	0

[illegible]

昨夏の甲子園出場を争った両校が、再び決勝で相見えた。先制点は仙台育英。3回裏、聖和学園の1年生投手高橋優に
対して、9番梶井の意表を突くセーフティーバントで出塁すると、1番田山が左中間を破る適時3塁打、2番倉田の中
犠飛で2点を先制した。4回裏にも1点を追加し、仙台育英ペースで試合が進むように見えた。しかし5回表、好投を
続けてきた仙台育英先発の梶井が制球を乱し、3四死球と2安打を浴びて2失点、聖和学園の追い上げムードが一気に
高まった。試合が大きく動いたのは6回裏、仙台育英は2死から連続四球で走者を貯めると、4番川尻が左翼奥に値千
の3点本塁打を放ち勝利を手繰り寄せた。7回にも1点、8回には聖和学園の守備の乱れに乗じて3点を追加した。
聖和学園は6回以降仙台育英吉川・吉田に2安打に抑え込まれ、得点機を演出できなかった。隙のない試合運びで得点
を積み重ねた仙台育英が、6大会連続となる優勝を果たした。